

1. ワークショップ等開催の目的

第3回上野地区まちづくりビジョン策定委員会 平成30年12月25日開催

「まちを育て、まちをひろげる」ための具体的な取組みの方向性について、まちづくり部会にて検討するよう指示

取組みの方向性 (案) ※参考資料1を参照

- 杜・駅・まちを活用した、世界中の人々を惹きつけ迎え入れる場をつくる
(まちの資源の発信・案内機能や交流・インキュベーション機能、宿泊・滞在・サービス機能の強化)
- さらなる来街者を迎え入れるためのエリア防災力の向上
- 積み重ねた歴史が息づくまちの景観や賑わいの魅力の維持向上
- 上野で住み、働くための都市機能の強化
- まち全体を支えるマネジメント体制の構築

まちでの具体的な取組みについて、「住む人」「働く人」それぞれの立場ごとに、より丁寧に具体的なイメージを共有するため、ワークショップ等を開催

2. ワークショップ等の班構成と検討内容

I 班 : 「働く人」(まちづくり協議会・観光団体・商店街の代表)

検討テーマ～賑わいのエリアにおけるこれからのまちづくりについて～

1. ワークショップⅠ(第1回) : 令和元年6月14日開催

- ・各まちづくり協議会・観光連盟・商店街連合会の代表を中心に実施
- ・賑わいのエリアにおける具体的なまちづくりの取組みについて議論

↓ 上野地区で活躍している方々に区がヒアリングし、I(第2回)に結果を報告

2. ワークショップⅠ(第2回) : 令和元年9月頃開催予定

- ・賑わいのエリアにおける、まちづくりの方向性を最終確認

II 班 : 「住む人」(居住者の代表)

検討テーマ～居住と観光の調和について～

1. ワークショップⅡ : 令和元年7月2日開催

- ・竹町地区・東上野地区町会連合会の代表を中心に実施
- ・ビジョンによるまちづくりのエリア確認、これからの宿泊対応について議論

2. 意見交換Ⅱ : 令和元年7月25日開催

- ・上野地区町会連合会の代表を中心に実施
- ・賑わいのエリアにおける居住について議論